T07658

## **XRP**: プラグインリレー (V11)

このリレーは信号空気圧を変換や分離に小容量出力の補助リレーとして、また可変コマンド(設定)信号や小形ドライブ用などに利用できます。構成は内径 Ø 4 mm のソフトクチューブ用プッシュオン接続口のあるプラスチックハウジングでブリードオフ式ノズル変換システムです。

空気圧は内部または外部リストリクタ経由またはリレーを接続している機器から供給されます。

形 番	用途	入力 bar	出力 bar	質量 g	旧部品番号
XRP 101 F001	インターフェースリレー	0.21.0	0.21.0	22	29769000
XRP 102 F001	反転リレー	0.21.0	1.00.2	50	29760000
XRP 103 F001	シーケンスリレー 2)	0.61.0	0.21.0	10	29751000
XRP 104 F001	シーケンス・反転リレー3)	0.20.6	1.00.2	50	29770000

供給圧 1)	$1.3\pm0.1$ bar	資料			
出力圧, 空気消費量	33 l <sub>n</sub> /h		接続図	外形寸法図	取付説明書
反転リレー 297600	19 l <sub>n</sub> /h	XRP 101	A03940	M00876	MV 505088
最大空気排気量	50 l <sub>n</sub> /h	XRP 102	A03941	M00132	MV 7334
許容入力圧/出力圧	01.4 bar	XRP 103	A03940	M00131	MV 7333
許容周囲温度	055 °C	XRP 104	A03940	M00132	MV 7335



XRP101



XRP102,104

## アクセサリ

0296 936 000 EN60715 レールブラケット, 35x7.5 と 35x15(XRP 103 は除く) 0296 937 000 C レールブラケット, EN60715 - C20 (XRP 103 は除く)

- 1) φ 0.2 の外部リストリクタ から空気圧供給必要ですが、RLP 調節器と接続の場合は不要。
- 2) スタートポイントは 0.2 ~0.6 bar まで自由にできるが、工場出荷時設定は 0.6 bar に設定済み。
- 3) スタートポイントは 0.6 ~1.0 bar まで自由にできるが、工場出荷時設定は 0.6 bar に設定済み。

#### 動作

### インターフェースリレー : XRP101F001

信号分離や小容量信号の負荷伝送用として、0.2...1.0 bar (標準) の信号を接続口3に入力すると1:1の信号圧が接続口2に出力します。

## <u> 反転リレー : XRP102F001</u>

可変コマンド信号の動作反転信号用として、0.2...1.0 bar (標準)の信号を接続口 3 に反転した信号圧が接続口 2 に 1.0...0.2 ba として出力します。

#### シーケンスリレー : XRP103 F001

標準の信号を 2 つのシーケンスレンジ用に分割します。0.2...1.0 bar (標準)の信号を接続口 3 に入力するとスタートポイントの 0.6bar(工場出荷時の設定)から超えて倍増幅した信号が接続口 2 に出力します。そのスタートポインは円筒ケーシングにあるねじを左、右にずらして 0.2... 0.6 bar の間で変えることができます。右図参照。

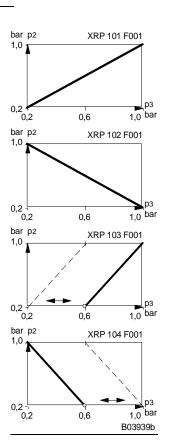
#### シーケンス - 反転リレー : XRP104 F001

標準の信号を 2 つのシーケンス用レンジに分割して反転します。0.2...1.0 bar (標準)の信号を接続口3に入力すると反転し、0.2 ...0.6 bar を 1.0...0.2 barの出力として変換します。

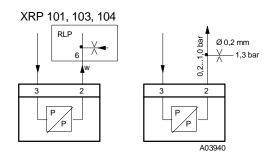
そのスタートポイントは円筒ケーシングの上の穴からねじを回して 0.6 から 1.0 bar の間で変えることができます。 右図参照。

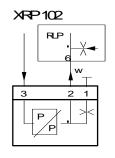
### 装備技術上の注意

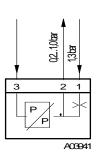
シーケンスリレー:ソフトチューブを接続口に直線上で挿入します。(インライン接続)。 反転リレー、インターフェースリレー、シーケンスー反転リレー: 壁面またはレール取付けします。



# 接 続 図







# 外形寸法図 (第一角法)

